アメニティ便り７月号

2011 年 7 月　　特定非営利活動法人アメニティ 2000 協会
芦屋市潮見町 5-8-3　TEL/FAX　0797-35-2181　携帯 080-3138-4164
Email soshisha@f6.dion.ne.jp URL http://homepage3.nifty.com/amenity2000/

＊東日本大震災被災者支援活動のご案内＊

いよいよ被災者支援活動が始まります。7 月の支援コンサートに始まり、以下のものを予定しています。いずれもこちらに避難しておられる被災者をお招きします。皆さんのまわりにそういう避難者がおられたり、情報があれば、ぜひお知らせください。***「今こそ私たちがお返しする時です」***をモットーにこの活動を続けていきましょう。

都忘れの咲く山荘の庭

支援コンサート

日時　2011 年 7 月 23 日（土）午後 2 時　　場所　神戸栄光教会　　定員　350 名
出演：アンサンブル・アメニティ
皆さまのご協力で現在のところ 170 枚のチケットが売れました。ありがとうございます。あと一息が 2 回ほどという感じです。アンサンブル・アメニティの演奏はいつも心に響くハーモニーです、今回も楽しみです。

予告 1　　**8 月の支援活動**

○前田先生と絵を描こう・・子ども絵画教室
月日　2011 年 8 月 10 日（水）　　場所　ヴォーリズ六甲山荘　　定員　30 名
保護者同伴の子どもさんの参加を募集します。被災者のご家族は招待いたします。
内容：絵画指導、自然観察、石窯ピザの昼食、お茶とお菓子。
指導（絵画）：前田豊稔（甲南女子大学人間科学部准教授）　　参加費：大人 2,000 円　　高校生以下 1,000 円
画用紙 1 枚をしあげます、そのあと指導者といっしょに散策しながら自然観察をします。
詳しくは別紙あるいはホームページをご覧ください。

○園遊会
月日　2011 年 8 月 20 日（土）　　場所　ヴォーリズ六甲山荘
内容：岩手弁による宮澤賢治の朗読（菅原哲夫）とフランスシター（いいだむつみ）のコラボ
菅原さんの朗読は岩手弁の独特のリズム感で、温かく心にしみいります。お楽しみに。
お茶とお菓子、石窯ピザ。被災者の方々はご招待です。

予告 2　　***今後の支援活動の予定***

9 月以降にはつぎのような活動をを計画しています。それぞれの活動には被災者の方々をお招きします。いずれも収益は今後の支援活動に使われます。また支援金として被災地へも送る予定です。

○園遊会
月日　2011 年 9 月 23 日（金・祝）　　場所　ヴォーリズ六甲山荘

○被災者支援コンサート
月日　2011 年 11 月 23 日（水・祝）　　場所　カトリック夙川教会
出演：森裕理（ゴスペル歌手）

〖コラム〗　　**東日本大震災被災者支援プロジェクト**

清水　順子

阪神淡路大震災を経験した私たちにとって、この度の東日本大震災は人ごととは思えず、まして津波、原発事故と二重三重の災害には言葉も出ない思いでした。当初から私たちに何ができるだろうかと、皆で考えてきましたが、まずいくつかの企画を実行することにしました。それが上記の案内でもご紹介しましたが、支援コンサート（7 月 23 日と 11 月 23 日）、子ども絵画教室（8 月 10 日）、園遊会（8 月 20 日、9 月 23 日）です。

いずれも一般にも広く声をかけ、収益は今後の支援活動の資金とします。またそれとは別に阪神間に避難しておられる被災者の方々を招待したいと思っています。生活や今後の設計について大きな不安を抱えておられる被災者の方々に、ひと時でも心安らぐ時間をすごしていただきたいという思いで企画したものです。

ただ阪神間に大勢が避難しておられるのはわかっているのですが、個人情報保護の見地から、具体的な情報はなかなか私たちには入ってきません。支援活動をしている団体などを通して案内をさしあげています。皆さんのまわりに被災地から避難してこられた方やそういう情報がありましたら、ぜひお知らせください。

また被災地の物産の頒布、東北地方への旅行など、地元の産業に少しでも寄与できることを実行したいと考えています。

復興は長いスパンで考えなければなりません。私たちの支援も息ながく続けたいものです。

≪連載≫　私たちの先駆者（第６回）

清水　彬久

英国ナショナル・トラスト誕生までの系譜　　その１

英国ナショナル・トラストは、様々な人々の影響を受け、１８９５年に誕生しました。
この運動の系譜を遡るとしますと、時代は更に５０年前、場所は英国で最も自然の美しいとされる北西部にある湖水地方が舞台となります。

最初に登場するのは日本でも親しまれている桂冠詩人ワーズ・ワース(1770～1850)です。彼は、この地で生れ後半生をライダル湖畔で過ごし、自然を讃歌する多くの詩を創作します。また、「湖水地方ガイド」では、「こんなに狭い半径のうちに、これに匹敵するような多彩な光と影の影響が、風景の崇高な、または優美な局面に及ぶような地方がどこにあるのか、私は知らない。」(高橋哲雄訳)と紹介し、慈しみます。しかし、晩年のヴィクトリア王朝時代になると、産業革命の波がこの地にも押し寄せてきました。１８４４年には、炭鉱開発や自然観光目当てとする鉄道路線延長の計画が公表されます。彼は、自然環境保護の立場から反対を表明し、計画の変更をさせるのです。そこには、自然そのものに価値を見出す人生観・芸術観から聖域を人間本位の行動から守ろうという想いがあったのでした。

このワーズ・ワースの精神を継承したのが、思想家ジョン・ラスキン(1819～1900)です。
彼は、ワーズ・ワースほどの知名度はありませんが、オックスフォード大学で教鞭をとり、当時の思想・宗教・建築・芸術等の分野で大きな影響をあたえた人物です。アーツ＆クラフト運動のウィリアム・モーリス、ロセッティ等のラファエル前派の画家たちがそうでした。彼を一躍有名にした初期の著書「近代画家論」で、「極小のものから極大のものにいたる全自然のうちに、私は絶えず聖なるものを感じとった。」と述べ、そこには「自然に忠実」という美学が根底にあります。そして、彼も後半生をコニストン湖畔に居を構え、自然と親しむ生活を送ることになるのです。彼は、特に英国ナショナル・トラストの創立者オクタヴィア・ヒル(1838～1912)、ハードウィック・ローンズリ(1851～1920) の二人と師弟関係にあり、後継者育成という面で重要な役割を果たすことになります。

オクタヴィアは、母の関係する工房でラスキンと出会います。彼女は１４歳にして、彼の「近代画家論」を愛読していたことから意投合し、デッサンを学ぶだけでなく、以後彼女の生涯の事業となるロンドンでのスラムの住宅改良計画に支援を受けていきます。両者は途中で意見が合わず離れていきますが、彼の存在抜きにして彼女の人生を語れないでしょう。もう一人のローンズリは、オックスフォード大学で美術を学んだ時から付き合いが始まります。ラスキンの紹介でオクタヴィアの事業も手伝うのですが、それがもとで体を壊します。療養のために湖水地方に移り、そのまま定住してウィンダミア村の牧師として奉職するのです。１８８３年に再び鉄道路線延長問題が発生した時には、先頭になって反対運動を展開し、成功を収めます。その後「湖水地方の番犬」として奔走するのでした。

このような指導者の伝播が、１８９５年へと向かわせていきます。

≪お薦めの本≫　　***バルガス＝リョサ著　田村さと子訳　楽園への道***

中元　礼子

人生とは、心のキャンバスにいろんな色を塗っていく作業だと、私は考えている。キャンバスに豊かな色を表現するためには、人、本、芸術、旅など、いろんなものとの出会いが必要となる。色に深みをだすためには、時に苦しみ、悲しみ、憤りなどもその要素となる。「楽園への道」の主人公、フローラとゴーギャンの心のキャンバスは共に、恐らく理解不能までに凄く、非常に濃く、豊かな、すばらしい色彩を間違いなく放つ。

フローラ・トリスタンとポール・ゴーギャンは、祖母と孫の関係であり、時代の革命家であり、反逆者でもあった。フローラは 19 世紀半ば、男に虐げられた女性達と、ブルジョワに搾取された労働者との団結を求め、当時の不公正な社会を変革しようと、身も心もその闘いに捧げた。一方、孫のゴーギャンは芸術の真理を追究するため、フランスを捨てタヒチ、マルキーズに移り住み、自身の心に原始的で野蛮な魂を吹き込もうとした。ヨーロッパ文明とのしがらみをすべて断ち切り、真の自由を求め、既存のヨーロッパ芸術を打ち破ろうとしたのだ。ユートピアを求めた二人が共通して持ち合わせていたのは、強烈な個性であり、エネルギーである。この二つがあったからこそ、時代を切り開き、偉大な業績を残し、心のキャンバスに味わいある色彩を放つ豊かな人生がおくれたのであろう。

ノーベル文学賞受賞作家、バルガス＝リョサの「楽園への道」を読み終え、「自分にとっての楽園とは何か」と考えた時、明確なイメージが浮かばない。何故だろうか。自分は保守的な人間だからか。現状に満足しているのか、あるいは甘んじているのか。満足はしていないが、あきらめているのか。いずれも当てはまるような気がする。これでは、なかなか自分の人生ストーリーをうまく描きにくいはずだ。だからこそ、自分の心のキャンバスに色をつけるため、できるだけ多くのものに出会いを求めているのかもしれない。逆に言えば、自分の人生ストーリーをより色彩豊かにするためには、自分の中に未だ隠れている個性なり、反逆性なりを見つけ出し、表現していくことも大切ではなかろうか。そのことをこの本が教えてくれたような気がする。　　（河出書房新社刊）

＜次回は松岡要三さんにお願いします＞

◇◆◇おしゃべりアラカルト◇◆◇

正司邸のチャリティ・オープンガーデン

福田　由紀子

正司邸のチャリティ・オープンガーデンに友人と参加しました。

個人の庭を入場料を取って開放し、収益は公益団体に寄付するという方式は英国で始まったものだとテレビで見たことがありましたが、オープンガーデン参加は初体験です。

5月10日当日は、あいにく、くずつき気味の天候でした。阪急電車の「雲雀が丘花屋敷駅」には初めて下車しましたので、邸宅までの行き方に少し不安がありましたが、同行の方を見つけ無事たどりつけました。高台の閑静な住宅街にあり、石垣の立派さにも目をうばわれました。庭には、いろんな種類のバラが咲き乱れ、趣味のよいガーデン調度が置かれているのも魅力的です。また日本家屋の前は石灯籠もある和式の庭でした。雨がぽつぽつ降ってきて、傘をさして竹林のそばで紅茶とクッキーをいただきました。その近くには、畑も作られていたのには少し驚きました。洋館と日本家屋のバランスも素晴らしく、高低差のある回遊式の変化に富んだ庭園でした。残念ながら大阪平野は見渡せませんでしたが、コンサートもあり、手入れの行き届いた庭園を眺めて贅沢な時間を過ごすことができました。

このような方式で庭が公開されることは、参加者が楽しめるだけでなく、意義あることだと感じました。今後も同様の催しを期待しております。

コウノトリの郷との交流会に参加して

金川　玲子

「赤ん坊はコウノトリが運んでくる。」「コウノトリが住み着いた家には幸福が訪れる。」という言い伝えがある女神様のような鳥なのだが、私はフィルターを通してしか見たことがなかった。はたと、この機会に実際のコウノトリとその周りの風景を見たくなった。

神戸から車で３時間。清水様ご夫妻と途中でお団子を頬張りながら、のどかな田園風景の中の豊岡市立地域農業管理施設に到着した。一週間前の台風はうそのように、梅雨の合間の暖かい日差しと、そして田んぼにはコウノトリとサギが待っていてくれた。

以前、大阪北摂に住んでいた頃、田んぼや川にサギがやってくると、まだこの辺りの自然を求めてくれているんだ、という嬉しさが、今回その時の気持ちがさらに増して思い出させてくれた。

それにしてもコウノトリの立ち姿は凛としており、飛ぶ姿は雄雄しい。白い首と胴体、羽の先が黒く、そして赤くて細い脚。背筋を伸ばして細い脚でしっかりと立っており気品に満ちている。そして飛ぶ姿は、首を真っすぐに伸ばし、羽を大きく広げ、優雅に雄大に飛行している。

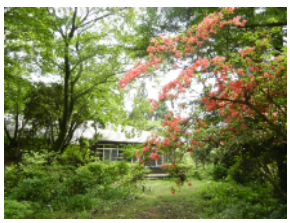
そんなコウノトリの生息を見学できる「コウノトリの郷」から歩いて数分の所に農業管理施設は位置する。その横の田んぼで、私たちは、本人だけがまっすぐに植えていると信じながら田植えを楽しんだ。とはいえ、1時間にも満たない作業にもかかわらず、泥沼に足をとられながらの田植え作業は足腰にかなりの負担であると思い知らされた。それだけに、その後の無農薬栽培でとれたお米をもみがらを燃料にし釜（スクモ釜）で炊かれたご飯でつくっていただいたおにぎりの美味しかったこと！

コウノトリの住める環境、食べ物つくりをされている畷様ご夫妻初め地域の皆様、今回このような体験をさせてくださり有難うございました。

六甲山荘だより

６月になるとさすがの六甲山上も気温があがり、「涼しさ」を満喫できるようになりました。山荘を訪れる人はいろいろで、建築もヴォーリズもまったく知らないけれど、通りがかって入ってみた、とか、ヴォーリズ建築大好きでもちろん駒井家住宅も行きました、とか、さまざまなケースがあり、お話しているとそれも楽しいものです。昨年から六甲山上に住居をつくって住み始めたという方もおられました。新築なので寒さ対策も十分、快適に過ごしておられるそうです。

この季節の楽しみは花です。バスの車窓からもいろいろな花がみられますが、山荘の敷地内にもかわいい花が次々に咲いてくれます。クリンソウ、都忘れ、シャガ、雪ノ下、キスゲ、ヒラドツツジ、ヤマツツジ、山桜、シチダンカなどなど。今年はクリンソウの勢いがおとろえて、かわりに都忘れが大繁殖していました。これからはコアジサイとアジサイの季節です。



なお**7月23日（土）全日と8月7日（日）の12時以降は休館**となります。ご注意ください。

＊ヴォーリズ六甲山荘宿泊のご案内＊

夏は六甲山荘の持ち味が一番発揮される季節です。特に宿泊すると山荘の良さが実感できます。静かな夜、鳥の声が降るような朝、庭でいただく朝食・・皆さんも山荘ライフを満喫してみませんか。

宿泊者：会員とその家族
料金　：会員 3,000 円　　非会員の家族 5,000 円　　小学生以下　半額
食事　：外食あるいは持ち込みによる自炊
持ち物：寝巻き、洗面具、タオル

宿泊ご希望の方はお早めにお申し込みください。

ヴォーリズ六甲山荘宿泊管理者募集

六甲山荘で宿泊者がある時に山荘に泊まりこんで管理をするスタッフを募集します。お風呂や火の管理、鍵の管理などが仕事です。避暑を兼ねてのスタッフです。
会員のペアでご応募ください。

駒井家住宅ニュース

冬は寒く夏は暑い盆地の京都、今年もその暑い夏が近づいてきました。商店街などでは祇園囃子の「コンチキチン」のテープが流れています。そんな中、梅雨の大雨の日も、梅雨晴れの暑い日でも、途切れることなく駒井家住宅にお客さまが来てくださるのはうれしいことです。この頃は「すでにヴォーリズ六甲山荘に行きました」という方が増えたように思います。どちらも住んでみたいヴォーリズ建築、楽しいハシゴですね。

私たちの手でヴォーリズ六甲山荘を育てましょう！

ヴォーリズ六甲山荘募金報告（目標金額 2000 万円）

５月の募金状況　６０，０００円<累計９，１１２，４９８円（636 名から 1,613 口）>
会員 60,000 円（9 名から 12 口）<累計 4,868,170 円（455 名から 969 口）>
一般　0 円　<累計 3,328,745 円（199 名から 663 口）>
一般団体　　0 円<累計 81,000 円（5 団体から 16 口）>
その他　0 円<累計 832,883 円>

振込口座・郵便局　00950-5-36168　アメニティ 2000 協会

求む！LP プレーヤー

以前にLP レコードをたくさんご寄付いただいたとお知らせしましたが、そのレコードのためのプレーヤーを探しています。
ご寄付いただける方はご連絡ください。

コウノトリの郷のお米はいかがですか

昨年の秋にご案内しました豊岡のコウノトリの郷のお米はいかがですか。コウノトリの野生化を支えるために無農薬で育てられたおいしいお米です、コウノトリの郷営農組合の前組合長の畷さんが特別にアメニティ 2000 協会に分けてくださるものです。
価格　５キロ　3,980 円　10 キロ　7,500 円
　　いずれも送料込み
ご希望の方はご連絡ください。